



青山 smile 通信

～みんなが笑顔になれる学校づくり～



令和6年1月23日

大津市立青山小学校 生徒指導通信

12月のソーシャルスキル② やさしい頼み方を身につけよう

12月のソーシャルスキルは2本立て。第2部は、まず、2年担任作成の動画「やさしい頼み方を身につけよう」を視聴しました。今回は、「やさしい頼み方」の学習で、「ペンを借りる場面」について、好ましくないモデルと好ましいモデルを視聴しました。

好ましいモデルでは、

- ① 頼む理由を言う
- ② 頼みたいことを伝える
- ③ 願う気持ちを伝える
- ④ 感謝の言葉を伝える

の4つのスキルが大切で、あわせて頼むタイミングも考慮する必要があります。相手の様子をよく見ながら、自分の気持ちをきちんと相手に伝え、頼んでみることを大切になることを確認しました。

その後、それぞれの学年の発達段階に応じて、1, 2年生は①「机を一緒に持ってほしいと頼む場面」②「国語の本を忘れたので見せてもらう場面」、3, 4年生は①「フェルトペンを借りる場面」②「パソコンの操作を教えてほしいと頼む場面」、5, 6年生は①「図書当番を代わってもらう場面」②「図書当番を代わってもらうが断られる場面」についてリハーサル（ロールプレイ）をしました。

1 リハーサル①をしました

学年ごとに上記の場面①について、2人組、3人組、または4人組で、「ロールプレイの3ステップ」で役割を決めてリハーサル（ロールプレイ）をしました。

2 リハーサル②をしました

学年ごとに上記の場面①について、2人組、3人組、または4人組で、「ロールプレイの3ステップ」で役割を決めてリハーサル（ロールプレイ）をしました。

3 児童の振り返りより

❖言い方も優しく、でも思っている伝えたいことは、しっかりと伝えないと、これからの社会でうまくつきあえないことに気づいた。

❖やさしいたのみかたで人の心を動かすということを知って、つぎたのむときには「やさしいたのみかた」をつかえるようになろうと思いました。

❖たのむことは仲の良い人でも言いにくかったりためらったりしてしまうので、言い方に気をつけつつ、やさしくたのむのを意識したいと思った。

- ❖ここでかんがえたことばを、じっさいに言ってみたいです。ほかのやさしいたのみかたもいったりしていきたいです。
- ❖今日、「やさしいたのみ方」の練習をして、悪い言い方がすごく悪く見えて、今日からそんな言い方はやめようと思いました。
- ❖やさしいたのみ方をするとじぶんはわからないところがわかって、教えた方は教えてよかったなという気持ちになるからこれからやさしいたのみ方をする。
- ❖ふだんはこういう言葉が使えていない気がするから、次話すときは、今回の言葉を話したい。
- ❖よい例と悪い例をやると、よいほうは何百倍もうれしくなった。やさしい言い方で言ってくると自分もやる気が出る。
- ❖れんしゅうのときにあいてが「いいよ。」と言ってくれたからうれしかったです。やさしい言い方は、いっぱいあるんだなと思いました。
- ❖やっぱり家で弟とかに何かたのむとき、すごくきつい言葉になっちゃってしまうので、気を付けようと思いました。
- ❖たのむときもたのまれるときも、しっかりと具体的に言われたり、言ったりして「あ、それできないんだね。」や「わかった。そういうことならいいよ。」などの気持ちがうかんできて、おたがいの立場になったとき、どちらもいい気持ちになりました。
- ❖ぼくはやさしいたのみかたを練習して、ちゃんとたのめたのでちょっとうまくなったかなと思いました。
- ❖思ったことは、たのみ方で相手の態度もだいぶちがうようになるということです。私はやさしいたのみ方をしてみようとする、もっとこんなことを言ったほうがいいのかという考えなどもうかんできて、とても楽しかった。

